



2024年5月14日

各 位

会 社 名 株式会社 i - p l u g
代表者名 代表取締役 CEO 中野 智哉
(コード：4177 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 阪田 貴耶
(TEL. 06-6306-6125)

特別損失の計上及び業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）において、下記の通り特別損失を計上いたしました。また、2023年5月15日に公表しました2024年3月期の通期業績予想数値（連結・個別）と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

1. 特別損失の計上

(1) plugin lab 事業及びキャリア大学事業ののれん及び固定資産の減損損失の計上について

当社が2022年12月に事業譲受した plugin lab 事業及びキャリア大学事業について、事業環境の変化等を踏まえ今後の計画を見直した結果、当初想定していた収益の獲得が見込めなくなったため、2024年3月期の個別及び連結決算において、同事業に係るのれん及び固定資産の減損損失として87百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) 株式会社マキシマイズにおけるのれんの減損損失及び関係会社株式評価損の計上について

当社の連結子会社である株式会社マキシマイズについて、事業環境の変化等を踏まえ今後の計画を見直した結果、当初想定していた収益の獲得が見込めなくなったため、2024年3月期の連結決算において、同社に係るのれんの減損損失として113百万円を特別損失に計上いたしました。

また、上記の背景を踏まえ、当社が保有する株式会社マキシマイズの株式について評価を行った結果、実質価額が著しく下落していることから、2024年3月期の個別決算において減損処理を実施し、関係会社株式評価損として170百万円を特別損失に計上いたしました。

(3) 株式会社 pacebox の預け金に対する貸倒引当金及び関係会社株式評価損の計上について

本日開示の「連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）及び債権放棄に関するお知らせ」の通り、2024年7月1日を効力発生日とし、当社の連結子会社である株式会社 pacebox を吸収合併することを決定いたしました。また、当社が株式会社 pacebox に対して有する債権の一部を放棄することを併せて決議しており、2024年6月28日に実施予定としております。これに先立ち、2024年3月期の個別決算において貸倒引当金として910百万円を特別損失に計上いたしました。また、当社が保有する株式会社 pacebox の株式についても2024年3月期の個別決算において減損処理を実施し、関係会社株式評価損として9百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想と実績値との差異

(1) 2024年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,088	百万円 79	百万円 74	百万円 9	円 銭 2.29
実績値（B）	4,602	139	137	△193	△49.15
増減額（B－A）	△485	60	63	△202	－
増減率（％）	△9.5	76.6	86.0	－	－
（参考）前期連結実績 （2023年3月期）	3,741	△411	△397	△492	△125.26

(2) 2024年3月期通期個別業績予想数値と実績値との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,411	百万円 347	百万円 209	円 銭 53.08
実績値（B）	4,249	550	△837	△212.39
増減額（B－A）	△161	203	△1,046	－
増減率（％）	△3.7	58.6	－	－
（参考）前期連結実績 （2023年3月期）	3,420	140	71	18.14

(3) 差異の理由

売上高につきましては、当社の主力サービスである「OfferBox」は前回予想並みの着地となったものの、新規事業が苦戦したこと等により前回予想を下回りました。一方、営業利益及び経常利益につきましては、新規事業の損失を「OfferBox」の収益性の改善でカバーしたこと等により前回予想を上回りました。また、連結決算における親会社株主に帰属する当期純利益及び個別決算における当期純利益につきましては、上記1に記載した通り、特別損失を計上したことにより前回予想を下回りました。

以上